津守地域 地区防災計画

家族の連絡先(携帯電話等)	
名前	連絡先(TEL)

災害時の避難に関する決め事	
災害時避難所	
津波避難場所	
一時避難場所	

メモ(アレルギー・薬の名前など)

固定電話使用の場合

伝言の録音方法 災害用「伝言ダイヤル171」のかけ方

171 ⇒ 1 ⇒ (　　) ー　伝言を入れる

ガイダンスが流れます 被災地の方は自宅の番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号

伝言の再生方法 災害用「伝言ダイヤル171」の聞き方

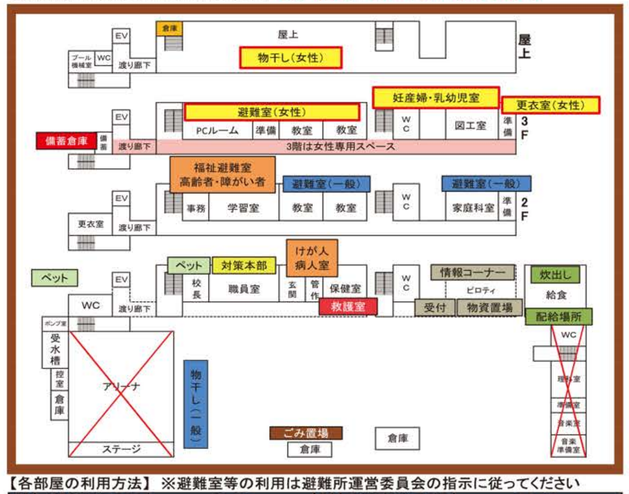
171 ⇒ 2 ⇒ (　　) ー　伝言を聞く

ガイダンスが流れます 被災地の方は自宅の番号、被災地以外の方は被災地の方の電話番号

※携帯電話の場合は、災害用伝言板をご利用ください。(使用方法については、各携帯電話会社にご確認ください)

もと津守小学校避難所の配置図

「災害時避難所」は、災害時に混乱が生じないよう、事前に専用施設(本部、救護室他）や避難室など機能別の配置をきめています。【 ※ 状況により変更する場合があります 】



【各部屋の利用方法】 ※避難室等の利用は避難所運営委員会の指示に従ってください

階	(場所)教室名	用　途	階	(場所)教室名	用　途
1	校長室	室内ペット	2	事務室	福祉避難室(高齢者)
1	職員室	対策本部		学習室	福祉避難室(障がい者)
1	管理作業員室	けが人・病人室	3	パソコンルーム	避難室(女性)
1	保健室	救護室	3	準備室	
1	ピロティ	情報コーナー	3	教室	
		受付	3	教室	
		物資置場	3	図工室	妊産婦・乳幼児室
1	給食室	炊出し	3	準備室	更衣室(女性)
		配給場所	3	屋上	物干し(女性)
2	教室	避難室(一般)		運動場	室外ペット
2	教室				物干し(一般)
2	家庭科室				ごみ置場
2	準備室				

もと津守小学校避難所の基本ルール

避難所を利用される方は、次の「ルール」を守ってください

避難所運営委員会

① 避難所の入・退所時は受付の指示に従い"避難者名簿"を作成し提出してください。一時的に当避難所を利用される方も作成・提出をお願いします。

② 介護が必要な方、持病のある方など生活に配慮が必要な方は受付にて申し出てください。(詳細な情報を確認させていただく場合があります)

③ **自家用車の避難所内への入 場は、原則禁止します。**

④ 避難所の避難室等の使用については、避難所運営委員会の指示に従ってください。

⑤ 起床・就寝時間の設定や清掃・ごみ処理、プライバシー保護など共同生活の標準的なルールを定めた「共同生活ルール」に従った避難生活をお願いします。

⑥ 避難所内での**喫煙は禁止**。また火気使用は所定の場所以外は禁止します。

⑦ 各種情報の伝達は、避難所内の掲示板（情報コーナー）で行います。

⑧ 避難所内での**飲酒は禁止**します。

⑨ 避難所は避難所運営委員会及び避難者が主体となって運営します。避難者の皆さんも運営に関わる協 力をお願いしますので、積極的な参加をお願いします。

～避難所にペットを連れてこられる方へのお願い～

① 避難所内では必ず指定された場所でケージ（檻）の中に入れるか、リードにつないで飼育してください。※ 屋内ではケージ（檻）の中に入れていただきますようお願いします。

② 避難所には動物に対する備えは基本的にありませんので、避難所に連れてくる際は飼い主でご準備ください。

水害時の避難情報の伝え方

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします

	警戒レベル	避難行動等
大阪市が発令	警戒レベル 5	災害発生 既に災害が発生している状況。 命を守るための最善の行動をとる。
	警戒レベル 4	全員避難!! 速やかに避難する。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難する。
	警戒レベル 3	高齢者等避難!! その他の人避難準備 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難する。その他の人は、避難の準備を整える。
気象庁が発表	警戒レベル 2	避難行動の確認 避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認する。
	警戒レベル 1	心構えを高める 災害への心構えを高める。

危険度アップ

家具の転倒・落下の予防

■耐震金具の利用や工夫で家具転倒を防止しよう

- 家具の下部前方に板を入れ壁にもたれ気味に置く
- 壁や柱と家具を固定する
- 就寝場所に家具が倒れてこないように配置する

家具が転倒するとどうなるの？

建物が無事でも家具が転倒すると、その下敷きになってけがをしたり、室内が散乱することにより避難できなくなる場合があります

我が家の防災セット（事前に準備）

■一次持ち出し品（避難所に行くときなど）

☑	品目	☑	品目	☑	品目	☑	品目
	懐中電灯		軍手・手袋		タオル		ホイッスル
	ロープ		現金・小銭		ウエットティッシュ		ライター
	水		万能はさみ		レジャーシート		毛布
	着替え（下着等）		ポリ袋		携帯ラジオ		常備薬

女性、赤ちゃん、高齢者用品

	生理用品		おむつ		粉ミルク・哺乳瓶		母子手帳
	介護用品						

■二次持ち出し品（避難所・自宅避難生活）

☑	品目	☑	品目	☑	品目	☑	品目
	飲料水（1日３ℓ）		カップラーメン		割りばし・紙皿		乾パン
	レトルト食品		缶詰		鍋・やかん		卓上コンロ
	非常用給水袋		サランラップ		タオル・バスタオル		毛布（寝具）
	歯ブラシ・歯磨き粉		石鹸		充電器		予備電池
	雨具		カイロ		携帯用トイレ		ビニール袋

食料品の備え方、ローリングストック法を活用しよう！

ローリングストック法

① 備える
家族分の食料を最低3日分できれば1週間分用意。

② 食べる
賞味期限を考えながら毎月消費する。

③ 買い足す
消費したものを買い足す。

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷面の紙へリサイクルできます。

地震が起きたらどうするか？

大きな地震が発生したら、冷静に対応するのは難しいもの。しかし、一瞬の判断が生死を分けることもあります。地震が起きても「あわてず、落ち着いて」行動するために以下の行動パターンを覚えておきましょう。

地震発生

命を守る
- 落ち着いて身を守る
- ドアを開けて逃げ道を確保する

1～5分

家族を守る
- 家族の安全を確認
- 火元を確認⇒出火の場合は初期消火
- けがをしないよう靴・スリッパをはく
- 必需品を手元におく、余震に注意！

5～10分
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める
- 家屋倒壊などの恐れがあれば事前に決められた一時避難場所へ避難する

情報を確認する

津波の恐れがある場合
- 一時避難場所で安否確認をする
- 津波到達までに時間がないときは、高い建物へ避難
- ビルなどの屋内では係員の指示に従いましょう

大阪市への津波到達予想時間は約110分です
落ち着いて行動しましょう

津波の恐れがない場合
- 一時避難場所で近隣住民の安否確認をする
- 周囲の安全を確認し、余震に気を付ける
- 自宅が危険な場合は、近くの親戚・知人宅や避難所へ避難する

災害時避難行動要支援者について

◆要支援者の避難方法

「視覚障がい」
わかりやすく複数回繰返し伝え、誘導は腕をつかんでもらう

「聴覚障がい」
正面から口を大きく動かしゆっくり伝え、伝わらない場合は紙などに書いて伝える

「肢体が不自由」
車椅子や担架など利用あるいは背負って早めに避難します

「子どもや妊産婦」
子どもに恐怖心を煽らない妊婦の方や赤ちゃんには、あわてず早めに避難できるように介助しましょう

「高齢者」
身近な避難場所の説明
大きな声でゆっくりと話す
また恐怖心を煽らず正確に情報の伝達をする

「日本語がわからない外国人」
災害の情報を身振り手振りなどで伝えましょう

出火の現場に居合わせたら！

通　報　大声で「火事だ～！」と叫ぼう
- 大きな声で叫び非常ベルや音の出るものを叩く。
- どんなに小さな火事でも１１９番通報を。

危険を感じたらすぐ避難！

もっとも大切なのは、身の危険を感じたときに一刻も早く避難することです。服装や持ち物などにこだわらず、できるだけ早く避難。一度逃げ出したら、絶対に戻らないようにしましょう。

本当に恐ろしいのは煙です！

煙は一酸化炭素などの有毒ガスを含んでいるため、吸い込むと中毒などにより命を落とす危険性があります。
①濡らしたタオルなどで口と鼻をおおう。②できるだけ姿勢を低くする。
③階段でははったまま後ろ向きに下りる。④視界が悪いときは壁づたいに避難する

状況に応じて避難する場所が異なります

一時集合場所へ避難
強い揺れの地震により建物が倒れる可能性がある場合は公園や広い場所へ避難

公園や広い場所

広域避難場所へ避難
大規模火災等が発生した場合は、広域避難場所（大きい公園等）へ避難

西成公園など

津波避難場所へ避難
海溝型地震発生後には津波が発生する可能性があります。津波から逃げる為には高い建物の3階以上に避難

頑丈で高い建物